

や

まさき

い

ちのみや



「ええ餅が出来よる」「やっぱり若い子は勢いが違うな」親子のコンビネーションでべったん



つくたてのお餅に「おいしい!おかわり!!」寒さにも負けず元気な子どもたち

餅つきで地域のつながりを!!



でみすまち
～出水町自治会～



出水町自治会では、12月26日(日)自治会内の駐車場に50人余りが参加し、「ふれあい餅つき大会」が開催されました。

今年で5年目となるこの活動は、始まった当初は、ひとり暮らし高齢者宅へ見守りを兼ねて餅を届けにいましたが、現在は自治会の全世帯65戸に広がりました。

この日は、人気メニューの豆や海老入りの餅など31点を男性陣が交代でつきあげました。

「年々参加者も増えて、今年は若い人がたくさん来てくれた。こうしたふれあいを大切に、これからも続けていきたい。」と自治会長の勝浦潔さん。

「元気にしよつてか。」「大きゅうなつたな。」など、普段なかなか顔を合わせることの少ない人たちの交流の場となりました。

出水町では、他にも盆踊りを復活させるなど地域のふれあいやつながりを大切にした活動に取り組んでおられます。

(山崎支部 森井裕矢)



10人のメンバーで結成して約2年。平均年齢は65歳(58歳～77歳)です

復興への思いを歌声にかえて

太子町から男性コーラス「コール・ハモレヤ」

愛飲者。台風9号豪雨災害以後、「被災地となった一宮で私たちにできることは」と、今回のコーラス披露となりました。

一曲一曲の歌声は、復興への思いとなつて利用者やスタッフの心に大きく響きました。

(本部・一宮支部 波多野好則)



「今日は、ほんまに良かったで。」
「遠いところから来てくれて感謝です。」



夫婦で息のあったフルート演奏は必見でした